

2020 年度実施概要

学校名

大阪府吹田市立藤白台小学校

採択活動名

海を大切に作る心を育もう

実施単元 ※実施した単元の数に応じて記載してください

単元名	学年	教科
1. カメさんを海に返そう！藤白台小学校大作戦	4年生	道徳
2.		
3.		

取り組みの概要

海洋ごみ問題を題材に、海を大切に作る心を育むための道徳教育を、4年生（3クラス、115名）を対象に2コマ（45分×2）で実施しました。浦島太郎のストーリーをベースとした演劇に沿って授業を行いました。具体的には以下のように展開しました。

【導入】

担任の先生が海に関する授業の打ち合わせを浦島太郎（劇団員）としていたら、カメさん（劇団員）がごみに絡まっていたのを発見した（海ごみに絡まる亀の写真の提示）。そこでカメさんを助けたところ、お礼に児童たちとともに竜宮城に連れて行ってくれるとのこと。しかしなんだか、カメさんの様子がおかしい…？

【海ごみ問題について知る】

カメさん「みなさんを竜宮城に連れて行きたかったんだけど…ごみが多すぎて連れていけなくなりました…」→海博士（大阪大学飯田隆人助教）による海洋ごみ問題の動画（海ごみとはなにか、どのような経路でごみが海に流れていくかなど）を視聴。

【身の回りのプラスチック探し】

浦島「海にはプラスチックが多いっていうけど、そんなに身のまわりにプラスチックがあるかな、探してみよう」→身の回りのプラスチック探しの実施→海博士によるプラスチックの解説動画を視聴（2分）。

【海をきれいにする案の作成、演劇の実施】

カメさん「どうやったら海がきれいになるのかみんなに考えてほしい。」→個々人でワークシートに海をきれいにするアイデアの記入→班ごとにアイデアの共有→前に出てきて劇にして発表

【まとめ】

海博士によるまとめ動画（SDGsやレジ袋有料化の取り組みなど）の視聴。→本日の振り返り。

以上の授業を通じて、いま世界では海ごみが深刻な問題になっていること、一見海から離れていて関係ないと思っても実はポイ捨てなどによって海が汚れてしまうこと、プラスチックは便利なものである反面海を汚すものにもなりえること、海をきれいにするためには私たち一人一人がごみを適切に処理しなければならないこと、そうした取り組みがSDGsやレジ袋有料化などの世界の流れと結びついていること、などを演劇を通じて楽しく、自分事として学ぶことができました。